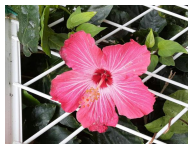


『風は南から』

令和7年度 校長室便り
(6月11日)(第5号)



第73回体育祭 大成功！

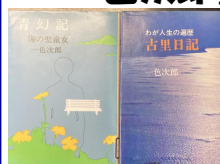
6月8日(日)好天に恵まれ、第73回体育祭が実施されました。本年度の体育祭に向けて、昨年度末から生徒実行委員会が立ち上げられ、内容を検討してもらいました。学年間の男女差と人数差が大きいことから、学年対抗をやめて、3学年を縦割りにしてチームを編成しようという意見もありましたが、競技種目やその配点を工夫することで、結果的に例年通りの学年対抗による体育祭になりました。



水の入った容器を持ち上げてその時間の長さを競う「沖高魂」や得点の異なるタイヤを奪い合う「タイヤ取り」、そして小中学生が参加できる「ボール蹴りリレー」等、新しい競技も加わり、最後まで大変盛り上がりしました。職場対抗リレーの参加も例年より多く、ゲゲの鬼太郎や戦隊ものの衣装、知名町のマスコットキャラクターの「ちなボー」、自衛隊、消防署の隊員の参加もあり、大変白熱したりリレーになりました。1・2年生合同のエイサーや一糸乱れぬ応援団の演舞も見事で、観客を魅了していました。最後の学年対抗リレーは、3年生が逆転するドラマもあり、感動の余韻の残る素晴らしい体育祭になりました。

2週間後は文化祭。大会テーマ「龍翔鳳舞」のもと、成功できるように一致団結して頑張りましょう。

第3回太宰治賞受賞の郷土の小説家「一色次郎」さんを知っていますか？



昨年、鹿児島大学の教授が来校された時に、沖永良部島(知名町余多)出身の小説家「一色次郎」さんを研究されていると聞き、興味を持ち、今図書館から借りて読んでいます。

一色さんは、沖永良部島で生まれ、生後43日目に父親が八号事件(村の青年団が島の暴力団相手にした争い)で検挙されて獄死。この件で生別した母親も小学5年生の時に短い悲惨な一生を終えています。父親の無実を晴らすために、40数年間の執念をかけて書いた「太陽と鎖」が反響を呼び、小学5年の時に亡くなった母親と故郷の思い出を書いたのが「青幻記」。そして、この「青幻記」で第3回太宰治賞を受賞しています。

背景として、戦中戦後の日本や沖永良部島の人々の暮らしが詳細に書かれてあり、郷土を知る上でも興味深い小説です。郷土が生んだ偉大な小説家の作品をぜひ読んでみてください。

うまく行ったものは、しくじったものの変形である。だから、しくじったものは、諦めたからこそしくじったのである」とポール・ヴァレリーは励ましてくれる。これは、文学だけの問題ではあるまい。だから、最後まで、諦めないこと、最後まで。

一色次郎「古里日記」より

「校内美化作業」

6月1日(日)7時より毎年恒例の「校内美化作業」を実施しました。来週末には体育祭、さらにその2週間後には文化祭が控えているため、毎年この時期に保護者・生徒に協力をお願いしています。昨年度は、生憎雨のために中止になり、草刈り等を先生方をお願いしましたが、本年度は、梅雨の合間の曇り空で、絶好の天候となりました。



日曜日にも関わらず、100人を超える方々に参加していただき、グラウンドを中心とした草刈りとその回収をお願いしました。例年より参加が多かった気がします。その後、本校で実用英語検定が実施されることになっていたので、1時間のみの活動でしたが、あっという間に清掃され、校内が大変きれいになりました。改めて、保護者の本校の教育活動に対するご理解とご協力、そして生徒の皆さんのきつい作業も厭わない、献身的な取組に感謝いたします。参加していただいた皆さま、ご協力本当にありがとうございました。

「エイサー部へ激励費の贈呈」



6月2日(月)東京同窓会の野村直功様(昭和47年卒)が来校され、野村様から9年連続全国大会に出場するエイサー部に対して激励費をいただきました。毎年全国大会にもお越しいただいて、激励していただいているそうですが、今年の香川大会には都合が悪く観覧できないということから、わざわざ来校されたそうです。野村様のような同窓生の方々のご協力で、本校の教育活動が成り立っていることを改めて実感しました。本当にありがとうございました。



商業科「学科朝会」



6月2日(月)「学科朝会」が行われ、商業科に参加しました。商業科の清水先生による「効果的な手帳の使い方」について講話がありました。清水先生は、スライドを見せながら、実際に活用している手帳の好事例を各学年から数名ずつピックアップして、紹介してくれました。

毎日目標を立てて振り返りをし、次への対策を立てている人、今日あったことや今考えていることを細かく記入している人、赤ペンや絵を効果的に利用している人、3年生の中には、検定試験までの計画や進路情報や進学先の受験日程について細かく記入している人もいました。以下は、生徒の感想です。

- ・提出物の期限を守るようになった！
- ・毎日の日記を書くことが楽しい。
- ・その時思ったことなどを自由に書いたり、思い出したりあとで見返したりして楽しい。
- ・先のスケジュールを把握することができるようになり、計画を立てやすくなった。

最後に清水先生から「最初はマネをしてもいいので、試行錯誤を繰り返しながら自分だけの手帳を作ってください」というメッセージがありました。4月からの成長が窺えて、大変嬉しくなりました。